



進路だより

静岡県立袋井特別支援学校

No.3 R6. 7. 23

○高等部3年生、第1回目の産業現場等における実習が終了しました

高等部では、3年間で5回の産業現場等における実習（以下実習）を行い、卒業後の進路を決定していきます。3年生では、2回の実習をとおして自分の進路を自分で決めていかなければなりません。今回も多く企業の・福祉事業所に御協力をいただき、生徒たちはそれぞれの実習先で様々な経験をして、多くのことを学び、新たな目標をもつことができました。実習後の報告会では、自分の経験した仕事内容や感想、今後の目標を堂々とした態度で報告する姿から充実感や達成感を得た実習であったことが伝わってきました。自分の目標を日々意識し、今回の実習で得た成果を今後に生かしてくれることを期待しています。



☆実習をとおして教師が感じたこと

『児童生徒に身に付けて欲しい力』

多くの実習先で求められることは、「ここで働きたい」という意欲です。遅刻ギリギリで通勤したり、やることが分からず黙っていたりする姿からは、働きたい意欲は読み取ってもらえません。毎日余裕をもって通勤すること、元気な挨拶や返事をするのが、働くための基礎となります。その上で重要なのが、コミュニケーション力です。自分なりの方法で気持ちを伝えるだけでなく、相手の気持ちを受け入れる双方向のコミュニケーション力を身に付けられるよう、日々のやり取りを大切にしましょう。

また、「働く」力と同じくらい大切なのが、「休む」力です。一人で余暇を楽しく過ごしたり、ストレスを発散したりすることで、明日も働こうという活力につながります。小中学部段階からいろいろな遊びを経験し、好きなものや夢中になれるものを見つけていきましょう。また、集団で遊ぶ中で身に付けるルールやマナー、一人で好きなことをして過ごす力、どちらも将来的に、長く働く上で大切な力になります。ぜひ、意識してみてください。

『家庭で意識してほしいこと』

- ・食事、睡眠、身だしなみを整えると、生活のリズムも心のリズムも整い、健康維持。
 - ・自分のことはできるだけ自分で行う。生活年齢も意識し、過度に手伝いすぎない。
 - ・お手伝いで生活力UP。経験値も上がり、家族の仕事も減り、お互いにwin win！
- どれも積み重ねることが大切です。今できなくても諦めず、毎日できることから始めましょう。